



## 窓口手続きの効率化

**問** 本市の窓口手続きの内容や混雑状況を伺います。

**答** 市長 最近の傾向として外国籍の方が増えていることや、令和2年1月からの旅券窓口開設に伴い、パスポート手続の方が多く来庁するなど窓口業務が増大しています。

**問** パスポートの手続きにおける市内外の割合と、近隣市町の旅券窓口の設置状況について伺います。

**答** 市民部長 令和5年10月末までの申請者の住所別の割合は、山武市民が46%、市外住民が54%です。

山武郡内では、本市と横芝光町が実施しており、近隣では、八街市、富里市、匝瑳市、茂原市などが当該業務を取り扱っています。

**問** 窓口の混雑緩和対策を伺います。

**答** 市民部長 令和2年から番号札システムを導入し、来庁者はあらかじめ

じめ用件を選択のうえ、発行された番号札の順番で受付できるようにしました。

また、職員側から見える電光掲示板には、手続きごとに分かれた窓口の待ち人数と待ち時間が表示され、これにより混雑している窓口のフォローに当たることができ、待ち時間の短縮につながっています。

**問** 窓口でのさらなる効率化や市民サービス向上のための取組を伺います。

**答** 市民部長 庁舎内への証明書自動交付機の導入を検討しており、手続きの簡易化と窓口の混雑緩和を図っていきたく考えています。

なお、導入費用の財源として、国からの交付金を充てる予定であり、併せて、特別交付税の措置も見込んでいます。

**問** 自動交付機を導入するねらいや今後の展望について伺います。

**答** 市民部長 導入するねらいとして、窓口の効率化のほか、高齢者等の情報格差の解消があり、庁舎内に自動交付機があれば、直接操作方法を案内することができそうです。そして、以後はすでに設置されているコンビニの証明交付サービスなどを、ご自身で操作できるようなことが期待されます。

## 市営住宅について

**問** 一部の市営住宅は、老朽化が著しいですが、現状を伺います。

**答** 都市整備課長 市営住宅は4団地あり、建設は昭和40年代の住宅が115戸と最も多く、現在管理している住宅153戸のうち、約75%がこの時期に建設されたものとなります。

**問** 現在の維持管理の状況を伺います。

**答** 都市整備課長 建具や設備の不具合等は、入居者等からの情報により、市から委託業者へ修繕業務を発注し、対応している状況であり、居住性や安全性が保てるよう維持管理に努めています。

**問** 築50年が経過した建物は、近く建替えが必要と考えますが、今後の管理運営の計画を伺います。

**答** 都市整備課長 長寿命化に資する外壁・屋根防水等の改修や給湯設備の更新など居住性向上工事の計画的な実施、または、建て替えを視野に入れた具体的な検討を行う時期にきていると認識しています。

**問** 近年増加している空き家の活用方法の一つとして、空き家を市が借り上げ仲介し、入居の資格基準を満たす住宅困窮者へ貸し出すような政策を提案しますが、市の見解を伺います。

**答** 都市整備課長 これまで以上の民間事業者との連携メニューの検討や、空き家改修に関する補助メニューの検討など、他の先進事例等も調査しながら研究したいと考えます。



## 犯罪被害者支援について

**問** 山武警察署管内犯罪被害者支援連絡協議会が山武警察署で開催され、山武警察署管内の3市町(芝山町、横芝光町、山武市)が警察と話し合う中で、条例制定に向けた準備が進んでいるとのことですが、本市において犯罪被害者等支援条例を制定する目的、立法事実、市の考え方について伺います。

**答** 市長 本市では「山武市安全で安心なまちづくり推進条例」に基づき、安心で安全なまちづくりを推進し、犯罪抑止に努めています。

しかし、連日、報道等で目にするように、ある日突然に誰もが犯罪被害者になる可能性があります。犯罪被害者等支援については、期せずして被害に遭うかもしれないすべての市民のための施策です。本条例を制定することで、関係機関との連携が深まり、市民の防犯意識の向上と安心安全なまちづくり

につながるものと考えます。

## 作田川流域の河川について

**問** 二級河川のうち、特に源川にあつては、作田川との合流地点での水面の高さが、八街方面から流れてくる水面より低いために、源川の水は、作田川に流れ込むことができず、上流に逆流する、バックウォーター現象が起きています。合流部周辺では、住宅や店舗、工場等が床上・床下浸水の大きな被害を受けており、水に浸かった住宅等の所有者は、引越して空き家だけが残りといった状況もあります。

令和5年9月に接  
近した台風13号に  
伴う大雨においても  
河川が氾濫し、作田  
川や源川周辺は、床  
上・床下浸水が発生  
しました。源川と作  
田川合流部にある調  
節池を、今後拡大す  
る予定はあるか伺い  
ます。



**答** 建設環境部長 源川調節池は令和3年度に調節池内の浚渫・伐採等機能強化の取組が実施されましたが、令和5年9月に発生した台風13号による降雨の際、再び同じ地域で家屋の床上・床下浸水が約70件発生しました。このため、管理者である千葉県に対し、

適切な貯留容量を確保するための施設の拡大・拡張による機能強化を要望しています。

**問** 作田川改修事業の進捗状況ならびに、市で管理を行っている二級河川から外れた作田川上流部の水害対策について伺います。

**答** 建設環境部長 作田川改修事業の進捗状況については、現在、成東堰周辺の支障となる工作物の移設工事を行っており、令和6年度以降は、成東堰橋への取付道路工事を予定していると、千葉県より聞いています。

県で実施する水害対策として、作田川の堆積した土砂を撤去する河道掘削を中金ヶ谷橋付近において継続的に実施しており、日向橋の上流部においては、引き続き定期的な浚渫・伐採等を実施していると聞いています。

また、令和5年8月には、山武市、東金市、九十九里町、八街市で構成する作田川改修期成同盟会が、作田川の未改修部分の早期整備について国および千葉県に対し、要望を行いました。

市で管理する河川部については、本格的な整備は行っていませんが、水害を未然に防ぐ対応として、木柵や土のうでの法面保護や堆積土砂の浚渫など、機能管理を行っています。

**【その他の質問】** ▼不登校児童生徒の対策について



## 市道・県道について

**問** 板中新田地先から横田地先間の市道拡幅の計画について伺います。

**答** 建設環境部長 市道陸岡14号線では、北総中央用水事業に伴って拡幅し、道路排水整備や流末排水路の整備を継続的に行っている状況です。これまで、旧板中コミュニティ消防センター付近から側溝を敷設してきており、今年度も引き続き、工事を予定しています。

**問** 実門地先の県道が雨のたびに水浸しになり、児童生徒の通学に支障をきたしていますが、対策の予定を伺います。

**答** 建設環境部長 県道八日市場八街線実門地先の冠水箇所の整備について印旛土木事務所へ確認したところ、工事実施に向け設計を進めていると聞いています。市としては、千葉県に対し、早期整備を継続的に要望していきます。

**問** 実門地先から横田地先間の市道拡幅の予定はあるか伺います。

**答** 建設環境部長 市道陸岡30号線は、近年、通勤時の抜け道としても交通量が増加傾向にあります。用地確保の必要もあることから、隣接地権者の協力を得ながら進めていきます。

## 地域まちづくり協議会

**問** まちづくりの重要な団体である「地域まちづくり協議会」の概要を伺います。

**答** 市長 第3次山武市総合計画における施策の項目の一つとして「市民と行政が協働してつくるまちづくり」を挙げています。多様化・複雑化する社会情勢に対応したまちづくりを推進する中で、地域まちづくり協議会は、地域住民と行政の橋渡し役として、大変重要な役割を担っていただいている団体と認識しています。

**問** 旧小学校区を含めた市内11小学校区のうち、まちづくり協議会が3団体あるとのことですが、設立等の推進について、現状と今後の取組を伺います。

**答** 総務部長 市のホームページにおいて、設立に向けたガイドラインや補助金交付制度などを周知しています。今後は、学校運営協議会などへの情報共有や他の団体との交流を兼ねたセミナー開催など、新たな取組を考えていきます。

## 認知症施策

**問** 認知症に関する現状と今後の取組を伺います。

**答** 保健福祉部長 地域包括支援センターが「認知症サポーター養成講座」を実施しており、さらに認知症サポーターには、実際の活動につながるための「ステップアップ講座」を実施しています。また、講座を受講した市民の方と「さんむオレンジチーム」を結成し、認知症カフェの運営やアルツハイマー月間での周知活動を行っています。認知症予防に対する明確な科学的根拠がない中、運動不足の解消、改善、糖尿病や高血圧症の生活習慣病の予防、社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持等が、認知症予防に効果的であると考えられています。

このことから、従来実施している出張健康教室や介護予防事業を継続的に実施し、認知症予防の視点も加えた啓発活動を今後も行っていきたいと考えます。

**【その他の質問】** 災害時における成東中学校近辺の安全確保のための措置  
成東総合運動公園施設の改修および整備の予定  
さんぶの森ふれあい公園テニスコートの照明設備および人工芝の修繕



新議会 鈴木健太郎 議員

## 市の事務処理について

**問** 各種補助金・給付金などの交付の際、山口県阿武町で発生した住民税非課税世帯宛ての特別給付金の誤振込事案や、大阪府摂津市の住民税還付金誤送金事案と同様の事象が発生するリスクはないか、事務フローの策定、体制は盤石であるか伺います。

**答** 総務部長 原則として、申請時に支給口座の届出および受取口座を確認できる書類の写しを提出してもらい、支払時は、担当者が支払伝票を起草した後、財務規則で定める役職者の決裁および合議を経て、最後に会計課による確認を行うなど、何重ものチェックを実施しています。

**問** 本市のマイナンバーカードの申請および交付の進捗状況を伺います。  
**答** 市民部長 令和5年10月末日時点の申請件数および申請率は3万8156件(77.71%)で、交付件数および

## 孤独死について

交付率は3万6563件(74.46%)です。  
**問** 昨今、全国的にもいわゆる「孤独死」が多数発生していますが、本市において件数を把握できる状況にあるか伺います。

**答** 保健福祉部長 民生委員による地域の見守り活動や、ケアマネージャーによる高齢者世帯の見守り活動を行っています。また、残念ながら、一人で亡くなられていた事例はあります。

「孤独死」は明確な定義がなく、件数を把握することは困難ですが、身寄りのない方などが亡くなられた場合、「行旅病人及び行旅死亡(人取扱法)」や「墓地埋葬等に関する法律第9条」の取扱いの事例があります。これらの件数は、令和2年度8件、令和3年度4件、令和4年度5件、令和5年度3件(令和5年10月末現在)です。

## 前年度決算の資産・負債の開示

**問** 令和4年度決算の貸借対照表の内容開示について伺います。

**答** 財政課長 総務省から作成を要請されている統一的な基準による財務書類のうち、貸借対照表は、例年9月から年度末の期間に作成しており、令和4年度分の財務書類は現在、作成しているところです。

**問** 現預金、債権、財政調整基金の

直近3年間の残高および市債(銀行等引受地方債等)の推移を伺います。

**答** 財政課長 一般会計およびさんむ医療センター公債管理特別会計における推移は、次のとおりです。

④市債 残高推移

令和4年度	236億3000万円
令和3年度	217億6000万円
令和2年度	203億9000万円

②債権 残高推移

令和4年度	85億9000万円
令和3年度	89億9000万円
令和2年度	89億9000万円

⑤上記④のうち、金融機関引受分

令和4年度	39億円
令和3年度	41億6000万円
令和2年度	35億4000万円

③財政調整基金 残高推移

令和4年度	58億4000万円
令和3年度	57億1000万円
令和2年度	58億4000万円

①預貯金 残高推移

令和4年度	96億8000万円
令和3年度	87億8000万円
令和2年度	80億4000万円

**問** 市所有の設備、例えば消防設備である特殊車両などは、市民の税金が原資となつている大事な資産であるため、処分する際は、まずは官公庁オークションなどに出展し、換価することを優先すべきと考えますが、見解を伺います。  
**答** 総務部長 消防ポンプ自動車などについて、官公庁オークションなどを利用した競売にかけるよう準備していきたいと考えます。